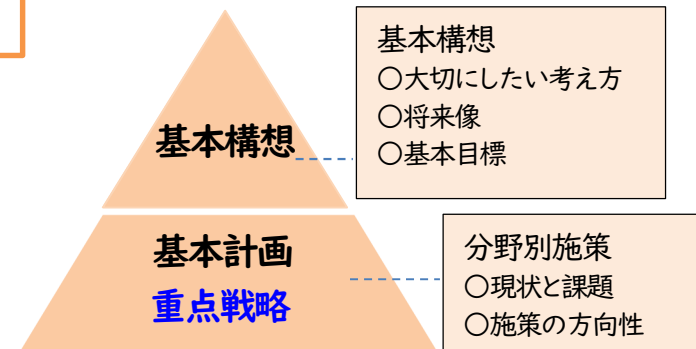


第3次日向市総合計画について

位置づけ

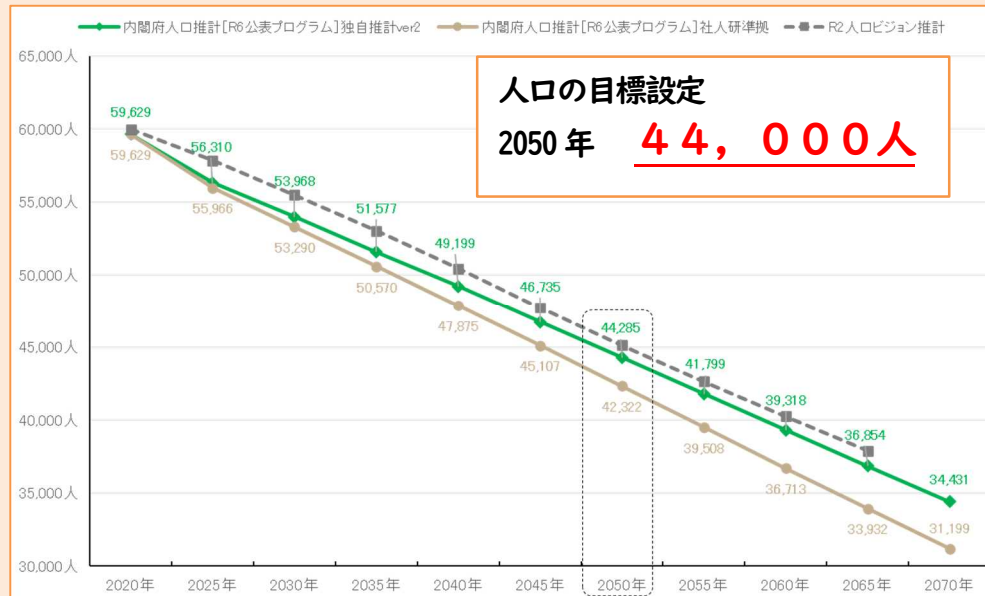
- ◆条例に基づき、総合的かつ計画的な市政運営を図るために策定
- ◆市民の皆さんと市が互いに尊重しながら、それぞれの役割に応じて主体的にまちづくりを進めていくための「**市民共有**」の指針

構成と期間



	令和7 (2025)年度	令和8 (2026)年度	令和9 (2027)年度	令和10 (2028)年度	令和11 (2029)年度	令和12 (2030)年度	令和13 (2031)年度	令和14 (2032)年度
基本構想	基本構想							
基本計画	前期基本計画				後期基本計画			

1. 計画の策定にあたって



現状分析(人口ビジョン等)

- ・高齢化の急速な進行
65歳以上人口の構成比
1980年 8.9%
⇒ 2020年 32.7%
- ・合計特殊出生率は県や全国平均より高い
- ・婚姻率は低く、離婚率が高い
- ・ひとり親家庭の割合が高い
- ・労働力人口が減少 ⇒ 企業の労働生産性向上が必要
- ・農林業等における高齢化と後継者の不足
- ・1人の高齢者を1人の生産年齢人口で支える状況へ

時代の潮流

- ・人口減少と少子高齢化の進行
- ・安全・安心に対する意識の高まり
- ・持続可能な社会の構築
- ・デジタル化の進展
- ・グローバル化の進展
- ・ライフスタイルや価値観の多様化
- ・厳しさを増す地方財政
- ・経済情勢の変化

本市の特性

- ・温暖な気候と豊かな自然
- ・「若山牧水」などの文化・歴史資源
- ・豊かな暮らしを支える農林水産業
- ・重要港湾「細島港」を擁する港湾工業都市⇒製造業の割合が高い
- ・日向市駅を中心とした機能的でコンパクトな中心市街地

市民ニーズ(アンケート調査)

- ・回答者の76%が定住意向有り
- ・住み続けたくない理由は、「交通の利便性が良くない」が高い割合
- ・高校卒業後の予定については、「市外に住んで進学する」の割合が50.7%
- ・高校生への「将来日向市に住みたいか」との質問では、「分からない」の割合が最も高く42.6%

2. 基本構想 (令和7(2025)年～令和14(2032)年の8年間)

まちづくりで大切にしたい考え方

- 全ての人の人権が尊重されるまちづくり <人権尊重>
- 市民との協働による共創のまちづくり <市民協働・共創>
- 地域力の活用による持続可能なまちづくり <地域力活用>

将来像

人と自然が響き合い、にぎわいと笑顔があふれる共創のまち日向

本市が誇る豊かな自然環境を生かしながら、歴史と伝統の中で培われてきた本市の魅力に磨きをかけるとともに、新たな魅力を創造することで人を呼び込み、まちに活力とにぎわいが生まれています。

また、まちに関わるすべての人が、それぞれの特性や役割を尊重しながら、互いに知恵や力を出し合い、本市の未来を共に創るまちづくりが行われ、市民に笑顔があふれています。

まちづくりの基本目標

- 次代を担う心豊かな子どもたちを育む、安心して生み育てられるまち
- みんなで支え合い、いきいきと暮らせる健康長寿のまち
- 活力とにぎわいにあふれ、交流が広がり、将来にわたって誇れるまち
- 人と地球に優しく、安全で安心して生活できる災害に強いまち
- 豊かな自然と調和し、快適で利便性の高いまち
- 個性と多様性を認め合い、誰もが自分らしく幸せに暮らせる共生のまち

まちづくりの重点課題

- 日向市の未来につながる**人を育てる**
若い世代や子育て世代への支援の強化、教育力の向上、教育環境の充実
- 若者が魅力を感じる**仕事があるまちをつくる**
魅力とやりがいを感じる仕事づくり、産業人材の確保、雇用環境の充実
- 地域資源を生かして新しい**人の流れをつくる**
本市の魅力を積極的に発信する、活力あるまちをつくる
- 安全で安心して暮らせる**快適なまちをつくる**
災害に強いまちづくり、生きがいを感じて暮らせる環境づくり、地域公共交通

課題の解決

3. 前期基本計画 (令和7(2025)年～令和10(2028)年の4年間)

重点戦略(総合戦略)

地域ビジョン

子どもや若者が魅力を実感し、夢や希望が未来につながるまち日向

戦略の4本柱

- 安心して子どもを産み育てられるまちをつくる
子育て支援、子育てと仕事の両立支援の充実、教育DX
- 魅力ある仕事をつくり、稼ぐ力を高める
企業誘致、地場産品の高付加価値化、若者のUIJターン促進
- 地域資源を生かして新しい人の流れをつくる
持続可能な観光推進、シティプロモーション、市民の市政への参画
- 安全・安心で誰もが活躍できる快適なまちをつくる
防災・減災対策、生きがいづくりと健康増進、利便性の高いまちづくり